

目次

1. 寄稿 「環境的に持続可能な交通を目指して」(第6回)
「鉄道でエコ」
【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 澤井 俊】
2. 寄稿 「地方から全国に向けた情報発信！」(第6回)
「地方都市圏における公共交通利用促進による地球温暖化防止実践活動の検証と定着」
【三重県環境森林部地球温暖化対策室主査 中西 輝】
3. ニュース/トピック
アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する国際会議を開催へ【環境省】
「今後の自動車排出ガス総合対策について(最終報告案)」に対する意見募集【環境省】
「くらしのみちゾーン」に3地区(国分寺市、藤井寺市、伊東市)を登録【国土交通省】
実際にバスを走らせ、次世代型路面電車(LRT)検討の交通社会実験を実施【京都市】
富山港線LRT化の整備効果調査結果を公表【富山市】
モビリティ・マネジメントの発展を期待し、JCOMM 賞候補を募集【日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)】
DMV(デュアル・モード・ビークル)の試験的営業運行の概要を発表【JR 北海道】
自動車優良環境機器・装置評価公表事業を創設へ【運輸低公害車普及機構】
「人が主役の豊かで持続可能な社会の構築に向けて」を発行【日本民営鉄道協会】
4. イベント情報
減らしとCO2(カーボン)キャンペーン
乗合バス等利用促進シンポジウム
交通まちづくり会議 in 和歌山
EST 普及推進フォーラム
EST フォーラム in 三郷・八潮～地球温暖化対策と環境にやさしい交通を考える～(仮称)
公共交通利用促進フォーラム
第4回全国バスマップサミット
秦野の交通スリム化に向けて～企業と生徒の交流フォーラム
アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する国際会議

5. その他

記事を募集しています！

1. 寄稿 「環境的に持続可能な交通を目指して」(第6回)

「鉄道でエコ」

【環境的に持続可能な交通(E S T)普及推進委員会委員 澤井 俊】

(国土交通省鉄道局総務課鉄道企画室課長補佐)

鉄道は環境的に優れた様々な特性を有しており、例えばマイカーと比べると、ひと一人を運ぶのに発生するCO₂量は約十分の一ですみます。

運輸部門から排出されるCO₂の約半分がマイカーであり、その量がこれまで増加してきたことなどを踏まえると、環境負荷の小さい鉄道を利用することは私たちが身近にできる地球温暖化防止のための取組のひとつと言えます。

このような取組を広く効果的に進めるためには、多くの人たちに「自分でも出来る身近な取組」として、鉄道の利用を意識してもらう必要があります。

このため、国土交通省では鉄道業界とともに平成17年10月から「鉄道でエコ キャンペーン」を実施することによって、鉄道の環境親和性を様々な媒体を使って訴求し、誰でも出来る環境対策をアピールしているところです。

このキャンペーンにより、たくさんの人たちに鉄道が環境にやさしい交通機関であることを伝えていくとともに、各鉄道事業者の具体的な環境への取組や利用促進策等を通じ、実際に鉄道にふれて頂くことが期待されています。

「鉄道でエコ キャンペーン」の詳細については、キャンペーン事務局ホームページでご覧いただけます。(<http://www.mintetsu.or.jp/eco>)

E S Tの取組も、こういった身近なところから少しずつでも進められていくことが期待されます。

2. 寄稿 「地方から全国に向けた情報発信！」(第6回)

「地方都市圏における公共交通利用促進による地球温暖化防止実践活動の検証と定着」

【三重県環境森林部地球温暖化対策室主査 中西 輝】

三重県北勢地域では、平成17年度から平成19年度までを事業期間とするE S Tモデル事業に取り組んでいます。鉄道整備・駅周辺整備事業と連携し、鉄道・バス利用者の利便性を高めながら、集中的に普及啓発事業及びパーク・アンド・ライド社会実験を実施することにより、環境負荷の小さい交通への転換を促そうとしています。さらにその方法の検証と

地域交通計画を提案し、実践活動の定着と拡大を図っているところです。

もともこの地域では、地元ローカル線である三岐鉄道沿線や名古屋方面行き高速バスの利用者のために鉄道・バスの事業者や地元自治体が無料のパーク・アンド・ライド用駐車場を整備してきた実績があります。これらの取組の素地と併せ、公共交通機関の利便性を向上させるため、駅前広場など駅周辺を整備するまちづくり交付金の事業も進められていたため、環境行動計画モデル事業に取り組みました。環境に配慮した持続可能な交通(E S T)の意を異にするかもしれませんが、当事業の計画の背景には、県民、事業者などの各主体がインセンティブを感じ、温室効果ガスの削減が進む仕組みについて検討してきたという経緯があります。

平成17年度の主な事業としては、三岐鉄道北勢線の整備事業、商業施設駐車場を活用したパーク・アンド・バスライド社会実験のほか、駅前広場の整備、駅周辺の道路整備等のまちづくり交付金等の事業、CNGバスの導入、そして、地元事業所と連携した通勤交通マネジメント(国土施策創発調査)などを実施しました。

18年度は、各連携事業を継続実施するとともに、モビリティ・マネジメントの手法を活用した普及啓発やE S Tモデル事業フォローアップ調査を実施しています。

E S Tモデル事業の目標は、当地区における運輸部門のCO₂の削減ですが、具体的に環境改善効果を把握する方法としては、パーク・アンド・ライド駐車場の利用率、三岐鉄道(北勢線)輸送人員の対前年比伸び率、当該バス路線輸送人員の対前年伸び率、富田駅乗降人員数などを挙げています。大まかに状況をまとめますと、鉄道のパーク・アンド・ライド駐車場の利用率及び輸送人員の伸び率は既に目標を超え好調ですが、バス利用者及び駐車場の利用者は低迷しています。これらの主な原因としては、地域内で交通不便地が多く、なかなか公共交通への転換が難しいこともありますが、各事業が実施されていることについての周知も不足していると考えられます。

今後、モビリティ・マネジメントの手法を活用した公共交通の利用促進やこの地域で実施されている各連携事業のPRに努めるとともに、同様の悩みを抱える地方都市にとって、良きにつけ悪しきにつけ「モデル」事業として実施方法の見直しや課題の検証をしていく所存です。

3. ニュース/トピック

アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する国際会議を開催へ【環境省】

環境省は、国際連合地域開発センター(UNCRD)、アセアン環境的に持続可能な都市に関する作業部会(AWGESC)、財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)とともに、2007年4月23、24日に、「アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する国際会議」を京都市にて開催することとなりました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7944>

「今後の自動車排出ガス総合対策について(最終報告案)」に対する意見募集【環境省】

中央環境審議会大気環境部会では、「今後の自動車排出ガス総合対策について(最終報告案)」を取りまとめました。本報告案について、広く国民の意見を聞くため、今月 23 日から 2 月 7 日まで、パブリックコメントを実施しています。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7935>

「くらしのみちゾーン」に 3 地区(国分寺市、藤井寺市、伊東市)を登録【国土交通省】

国土交通省は、「くらしのみちゾーン」3地区(東京都国分寺市、大阪府藤井寺市、静岡県伊東市)を新規登録しました。「くらしのみちゾーン」は、歩行者・自転車優先で、快適な道路空間を形成する取り組みで、平成15年度からの登録累計は 55 地区となりました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/06/060126_.html

実際にバスを走らせ、次世代型路面電車(LRT)検討の交通社会実験を実施【京都市】

LRT 導入を検討している京都市は今月 24 日、今出川通(西大路～川端)で交通社会実験を実施しました。カラーコーン等により道路中央に専用走行車線を確保し、LRTに見立てた実験バスを 10 分間隔で運行し、一般車両や沿道にどのような影響が出るのかを調べました。

<http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/lrt/jikken.html>

富山港線 LRT 化の整備効果調査結果を公表【富山市】

2006 年 4 月 29 日に開業したポートラムの整備効果を把握するため、国土交通省と富山市は共同で、JR 富山港線とポートラムの利用状況等についての調査を実施し、調査結果を公表しました。

<http://www7.city.toyama.toyama.jp/pr/interview/070104a.html>

モビリティ・マネジメントの発展を期待し、JCOMM 賞候補を募集【日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)】

国内のモビリティ・マネジメントについての取り組みや研究の中で、特に優秀なものを日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)実行委員会を選定し、その実現に貢献した個人あるいは団体を表彰する JCOMM 賞が募集されます。募集期間は 2007 年 3 月 1 日～31 日までです。

http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/award_19.html

DMV(デュアル・モード・ビークル)の試験的営業運行の概要を発表【JR 北海道】

JR 北海道は、この4月から釧網線浜小清水 - 藻琴間で始める DMV の試験的営業運行の概要を発表しました。

<http://www.jrhokkaido.co.jp/press/2007/070115.pdf>

DMV は同社が開発した道路とレールの双方を走行できる車両で、利便性の向上とコストの低減が期待されています。他の地域も注目しており、静岡県富士市では今月、DMV のデモンストレーション走行を行いました。

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/cityhall/tosise-b/tosikei/traffic/news/index.htm>

自動車優良環境機器・装置評価公表事業を創設へ【運輸低公害車普及機構】

(財)運輸低公害車普及機構は、燃費向上に有効な機器・装置の普及を図ることを目的とし、その性能等について客観的に評価・審査を行い、優良なものについて公表する制度を創設することになりました。第1回の申請受付は4月の予定です。

<http://www.levo.or.jp/efd/outline.html>

「人が主役の豊かで持続可能な社会の構築に向けて」を発行【日本民営鉄道協会】

(社)日本民営鉄道協会では、2006年9月に開催した「鉄道とまちづくりの連携に関するシンポジウム」について、「人が主役の豊かで持続可能な社会の構築に向けて」と題する報告書として取りまとめました。

<http://www.mintetsu.or.jp/society/news/Individual/3170.html>

4. イベント情報

減らしとCO2(カーボン)キャンペーン

日時:2007年1月27日~2月7日

場所:名古屋市等

実施主体:NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム

概要:名古屋地域で展開中の交通エコポイント、EXPO エコマネーを活用したモビリティマネジメントの社会実験を実施します。普段の交通行動や生活で排出されるCO2排出量を調べ、実際の行動変化にチャレンジします。

http://eem.jp/jp/co2_campaign.html

乗合バス等利用促進シンポジウム

日時:2007年2月8日(木) 13:10~16:25

場所:プラザおでって 3階 大ホール

主催:岩手県、盛岡市、社団法人岩手県バス協会

<http://www.pref.iwate.jp/hp0210/bus-taisaku/symposium/shinpoannai2006.htm>

交通まちづくり会議 in 和歌山

日時:2007年2月10日(土) 10:00~16:00

場所:和歌山市民会館市民ホール

主催:和歌山市民アクティブネットワーク(WCAN)交通まちづくり分科会

共催:国土交通省近畿運輸局

http://homepage3.nifty.com/sustran-japan/datafile/wakayama_20070210.pdf

EST 普及推進フォーラム

日時:2007年2月14日(水) 13:00~19:00

場所:六本木アカデミーヒルズ49

主催:EST 普及推進委員会

概要:関係省庁、交通事業者及び内外の学識経験者等によるESTに向けた講演・意見交換等が行われます。また、ESTモデル地域における取組みから得た知見を一般に広めるべく、ポスターセッション等による情報提供もあわせて行われる予定です。

<http://www.estfukyu.jp/>

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/01/010125_.html

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7943>

EST フォーラム in 三郷・八潮 ~ 地球温暖化対策と環境にやさしい交通を考える ~ (仮称)

日時:2007年2月20日(火) 13:30~16:20

場所:三郷市文化会館大会議室

実施主体:関東地方環境事務所、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

概要:モビリティ・マネジメントの取組事例紹介(埼玉県、京都府の事例)、ESTモデル事業の取組事例紹介(松山市の事例)

公共交通利用促進フォーラム

日時:2007年3月3日~4日

場所:仙台市市民活動サポートセンターほか

実施主体:NPO 法人 まちづくり政策フォーラム

概要:公共交通についてのリレーセッション、セミナー、フォーラム(環境省EST主体間連携事業)

第4回全国バスマップサミット

日時:2007年3月3日~4日

場所:仙台市市民活動サポートセンターほか

実施主体: 全国バスマップサミット実行委員会
概要: サミット会議、交流会、仙台バス乗り体験

秦野の交通スリム化に向けて～企業と生徒の交流フォーラム
日時: 2007年3月10日(土) 10:00～12:00
場所: 秦野市本町公民館大ホール
実施主体: 関東地方環境事務所
概要: ノーマイカー運動紹介(秦野市内の交通状況、市によるTDM取組の紹介)、企業、
中学生徒によるプレゼンテーション(企業によるマイカー通勤削減などの取組、中学生
生からの感想や提案等)

アジアの市長による環境的に持続可能な交通に関する国際会議
期間: 2007年4月23～24日
場所: 国立京都国際会館(京都市左京区)
主催: 環境省、国際連合地域開発センター(UNCRD)、アセアン環境的に持続可能な
都市に関する作業部会(AWGESC)、財団法人地球環境戦略研究機関
<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7944>

5. その他

記事を募集しています!

本メールマガジンへの掲載記事を募集しています。EST、または「交通と環境」に関連する
取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

E-mail: XXXXXXXXXXXX(担当: 市丸)

=====

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

ESTポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>